

令和5年9月（2023年）No.693

第63回 OMC 映像フェスティバル

初めての月曜日開催に一抹の不安

会長 合原一夫

今まで OMC 映像フェスティバルは、ほとんど日曜日の午後が開催日でした。例外として昨年第62回は土曜日、平成30年の第58回が水曜日開催という年がありました（この年は行政の都合で日曜日貸出しが出来ない時でした）。今回の10月2日月曜日開催というのは初めての経験です。日曜日の予約が出来なかったことで、止む無く空いていた月曜日になってしまった次第なのです。

もっとも、観客の大方は、年配者が多いので平日でもよいのでは、と考えていますが、さて如何なものか、やってみなければ判りません。東京では、休日の会場確保が困難という事で平日が普通になっています。

コロナ禍の影響でプログラム発送の為の芳名簿の数が、ぐっと減ってきています。最盛期には650名位の登録者があったのに、現在は300名を切っています。3年間一度もご来場のなかった方を消している一方、新規来場者の登録が少なかったことに依ります。もっともコロナの為に入場制限や申し込み制で、案内そのものを絞ってきたという事も減ってきた要因の一つと思います。

さて、平日の開催でも十分観客動員が出来る、との実績が得られれば、それはそれとして次回からの参考になります。平日の方が会場費は安いというメリットもあるのと、予約が取り易いという事もあります。

しかし、根本的には作品の内容、観客の皆さんの評価が大切です。来て良かったと、喜んで貰えるような発表会かどうか、今後の観客動員に影響します。今年の発表会の盛会を祈ると共に、来年へ向けての会員諸氏のガンバリが期待されるところです。これからも OMC を楽しく頑張って関西アマチュア映像界のリーダークラブとして活動していきましょう。

9月例会のご案内

第4土曜23日（祭日）13時開場、13時半より例会開催、役割分担当番の人は開催30分前までにお越し下さい。楽しいひと時を過ごしましょう。

大阪アマチュア映像祭

11月5日(日)大阪市立中央図書館で

わがOMCから7作品を出品

第27回大阪アマチュア映像祭は大阪アマチュア映像連盟と大阪市立中央図書館との共催事業として毎年開催している事業ですが、コロナ禍で入場制限下にあった映像祭が、今年から従来に戻って入場制限なしで実施できるようになりました。入場制限下では「申し込み制」で何かと手間と経費が掛かっていましたが、それが無くなっただけでも助かります。入場制限下では案内状も数を絞って出していましたので芳名簿から消えていく人が増えていく要因でもありました。

大阪アマチュア映像連盟も数を減らして今4クラブしかありません。その中で単独で発表会を毎年開催しているのは、我が大阪ムービーサークルだけになっています。

それだけに大阪ムービーサークルは連盟の大黒柱として活動をしていかなければならないのです。岡本至弘副会長が連盟の事務局長として、中央図書館との連絡、調整及び書類の作成等にご尽力いただいて連盟の運営に寄与されていることに感謝しています。
(会長 合原 記)

OMCからの出品作紹介

次の7作品が出品されています

- | | | |
|---------------|-----|------|
| 1) 雪の上高地 | 9分 | 高田幸夫 |
| 2) インド石窟寺院 | 9分 | 山本正夢 |
| 3) 雪・渡月橋 | 8分 | 江村一郎 |
| 4) 嵐電の詩 | 9分 | 高瀬辰雄 |
| 5) 短歌紀行・桜咲くころ | 9分 | 岡本至弘 |
| 6) 原風景を守る秘湯の宿 | 9分 | 中村幸子 |
| 7) ご苦労さん | 13分 | 合原一夫 |



OMC準会員制を導入

OMC映像フェスティバルのプログラムに会員募集の案内記事を初めて掲載しましたが、作品は作っていないが見るだけでも参加してみたい、或いは、今はスマホ等で動画を撮ってSNS等に上げて楽しんでいるが、ちゃんとした作品にしてみたい等という人が居たら、取り合えず例会を覗いてみませんか、という程度の主旨で準会員制を設けてみました。一人でも反応があって入会して頂いたらうれしいのですが・・・。

■ 発表会の「作品集DVD」申込受付

今年のフェスティバルの作品集を予約受付します。価格千円です。9月例会で宮崎会計に申し込んでください。

8月 通常例会レポート

今夏は例年になく暑い日が続く。夜も蒸し暑くエアコンなしには寝付かれない異常気象である。そのせいもあるのか今月の例会出席者は少々少な目だった。しかし9本の力作が揃い内容のある例会となった。

■ 運営担当：司会 合原、書記 岡本、YouTube 関係 中川、映写 中川、山本、
メモリー記録 江村、受付・照明 宮崎、森下の各氏

■ 出席者：岩井、江村、大久保、岡本、合原、高瀬、高田、鉄具、中川、宮崎、森下、山本の12氏
上映作品（今月の書記は岡本副会長）

1. 短歌紀行・桜咲くころ BD

岡本至弘 9分07秒

(作者コメント)

大阪アマチュア映像祭出品の為、皆さんのご意見を反映して、タイトル変更、短歌訂正で4回目の改作です。



2. 亀の瀬トンネル BD

江村一郎 7分40秒

(作者コメント) この一年間、亀の瀬をテーマに「亀の瀬」「龍田古道」と制作したが、今回はトンネルをメインにとらえました。柏原市が光の旅路として80年前に出現した幻のトンネルを舞台に48台ものプロジェクターを設置し空間を包み込む。



(書記コメント) 奈良県三郷町と大阪府柏原市にまたがる日本遺産「龍田古道・亀の瀬」の亀の瀬トンネル(旧大阪鉄道亀瀬隧道)で行われていたプロジェクションマッピングを撮影されたもの。

トンネル内は、真夏でも20°前後の涼しさで、トンネルの壁に映された動画を楽しんでいる様子など、珍しいイベントを拝見しました。

3. パリ市内 オルセー美術館 BD

中川良三 6分30秒

(作者コメント) 日本の美術館では写真撮影は禁止されていますが、海外ではフラッシュを使わない限り撮影できます。また、館内は作品と鑑賞者の間には制限エリアが設けられていません。なぜでしょうか？



(書記コメント) 海外旅行は、パリのオルセー美術館、を纏められました。

これだけを撮られに行かれたのでしょうか。まだまだ沢山の映像がおありでしょうか。これだけではもったいない。じっくりお撮りになって素敵な作品を見たい。コメントの質問はわかりませんでした。

ツアーだったら仕方ないですが、三脚でじっくりお撮りになり、あまりカメラを振り回さないで、素敵なパリ市内の作品を見せていただきたいなあ。映像は主、BGMは従で纏められるといいですよ。改作を期待しています。頑張ってください。

4. 震災12年目 被災者の本音 BD

中村幸子 6分59秒

(作者コメント) 今年は関東大震災から100年目、阪神大震災、東日本大震災と日本列島は地震大国です。12年前、東日本大震災の津波で妻と義母を失くした一人の被災者が今、本音を始めて語ってくれました。



(書記コメント) 2011年3月11日14時6分頃に発生した、東日本大震災は、死者行方不明2万2千人を超える大惨事となり、以来12年の歳月がながれた。その現場に足を運ばれて、体を張って、取材作品を纏められた。そのご労苦に拍手を送りたい。インタビューを中心にうまくまとめられた短編ですが、もう少し材料不足のようです。インタビューオンリーのカットが多いのでインタビュー中に災害の映像を挿入すれば、もう少し良かったのではないかと思います。それからテロップの文字の青色が読みにくいので直された方がいいかと思います。いずれにしろご苦労様でした。

5. 学生旅行その後 BD

山本正夢 9分0秒

(作者コメント) 彼らと知り合って20年近くになり今回訪日を機会に昔のビデオを再編集しました。

(書記コメント) 作者のご息子(ドイツ在住)の級友がハンブルグ大学で合った人種の違う同級生3人が南トルコからイスタンブールまでレンタカーを使い10日間の旅行をするというシーンから映像はスタートする。その2年後、再会するシーンへと続く。そして、12年後作者の待つ日本を訪ねるストーリー。作者は、それに合わせて、過去の映像に今回の訪日をつないで作品にされました。淀川花火祭りでエンディングのホームビデオでした。



6. ぞうり作り講習会 BD
宮崎紀代子 9分40秒

(作者コメント) ビデオ編集を始めた頃の作品が見つかったので例会作品として提出した。



(書記コメント) ビデオを始めたころの作品だそうですが、うまく撮影されています。わらぞうり作りを楽しんでいる様子がよくでています。今はこのような光景は見かけませんが、私が子供の頃は、田舎でよく見かけました。

7. 繁栄の果て BD
合原一夫 9分50秒

(作者コメント) 高度経済発展の時期、繁栄を誇った日本の製造業も陰りが見え、巨大な工場プラントもついに姿を消すことになった。広い工場施設が容赦なく破壊されていく。ここで日々働いていた従業員たちの気持ちを考えると、複雑な気持ちになってくる。



(書記コメント) 今から約30年前の映像、大型化学プラント工場の解体の様子を撮影されたもの。砂埃を上げながら壊されていく様子は迫力満点、まるで大地震が起きて潰れていくようだ。危険な現場でよく撮影されました。貴重な作品です。

8. 狸谷山火渡り祭り BD
高瀬辰雄 12分30秒

(作者コメント) 洛北一乗寺の狸谷山不動院は車の安全祈禱の寺として知られ、本堂が清水寺の舞台と同じ懸崖づくりであることから有名です。その狸谷山不動院で毎年7月28日に行われる火渡り祭りを撮影、寺の風景は季節が違いますが、何とかまとめてみました。



(書記コメント) 「タヌキダニのお不動産」の名で親しまれている、1718年創建の寺院。狸谷山不動院、夏の風物詩で護摩焚き供養の火床を渡し無病息災を祈願する「火渡釣り」を撮影されました。京都の清水寺を模した寺院はあちこちにあるのですね。

9. エンジョイ! in Thailand BD
高田幸夫 10分12秒

(作者コメント) 避寒旅行としてタイのサムイ島に滞在してのんびり過ごしました。

(書記コメント) コロナ禍が始まった頃の映像だそうです。海外旅行を楽しまれていますね。まさにタイトル通りエンジョイビデオですね。ムード作品です。言うことありません。一つだけ、パートナーとのツーショットがあればなお良かった。

